

総社市総合交通戦略 修正事項 新旧対照表（第4回会議以降の修正事項一覧）

修 正 後	修 正 前
P18 1-5. 開発動向 本市における住宅及び商業施設（店舗等）、工業施設（工場等）等の新設着工件数の推移をみると、平成22年（2010）にはリーマンショック等による全国的な景気低迷に伴い着工件数は243件まで落ち込みましたが、その後回復傾向を示し、近年は<u>約370～400件／年程度</u>で推移しています。 図 新設着工件数の推移（平成21年度（2009）～平成30年度（2018）） 【図の再作成】 大字別の面積（ha）あたりの新設着工件数（平成21年度（2009）～平成30年度（2018）計）の分布をみると、市街化区域内において新設着工件数が集中しています。 図 大字別haあたり新設着工件数（平成21年度（2009）～平成30年度（2018）） 【図の再作成】	本市における住宅及び商業施設（店舗等）、工業施設（工場等）等の新設着工件数の推移をみると、平成22年（2010）にはリーマンショック等による全国的な景気低迷に伴い着工件数は243件まで落ち込みましたが、その後回復傾向を示し、近年は平均<u>約300件／年程度</u>で推移しています。 図 新設着工件数の推移（平成18年度（2006）～平成27年度（2015）） 大字別の面積（ha）あたりの新設着工件数（平成18年度（2006）～平成27年度（2015）計）の分布をみると、市街化区域内において新設着工件数が集中しています。 図 大字別haあたり新設着工件数（平成18年度（2006）～平成27年度（2015））

修 正 後	修 正 前
P44 3-5-3. 利用者数 (1) 利用者数の経年変化 <u>平成30年度（2018）の年間利用者数は51,572人であり、一日あたりの利用者数は214人となっています。</u> <u>また、利用者数の推移では、運行方式の見直しにより平成25年度（2013）から平成27年度（2015）にかけて減少しましたが、それ以降は増加または横ばい傾向となっています。</u> 表 総社市新生活交通「雪舟くん」<u>利用者数・登録者数</u> 【表の再作成】	<u>平成29年度（2017）の年間利用者数は全エリア合計で52,878人であり、エリア別の内訳をみると、東部が38,953人（74%）、池田が1,502人（3%）、西部が5,979人（11%）、昭和が6,444人（12%）となっています。</u> <u>また、利用者数の推移では、いずれのエリアにおいても運行方式の見直しにより平成25年～平成27年にかけて減少傾向で推移していますが、平成27年を境に増加または横ばい傾向に転換しています。</u> 表 総社市新生活交通「雪舟くん」<u>利用者数</u>
P45～48 P50～54 各図の出典 出典：<u>総社市資料（平成30年度）</u>	出典：<u>総社市資料</u>
P55 3-6. 公共交通関連支出額 （中略） <u>公共交通関連支出額は、雪舟くんの運行単価見直しやバス利用者の減少、井原鉄道の修繕費の増加などにより、年々増加しています。</u> 表 <u>公共交通関連支出額（参考）</u>	3-6. 公共交通補助額 （中略） <u>交通関連補助額は、雪舟くんの運行単価見直しやバス利用者の減少、井原鉄道の修繕費の増加などにより、年々増加しています。</u> 表 <u>交通関連補助金（参考）</u>

修 正 後	修 正 前
P94 表 地域公共交通をめぐる課題【地域特性】 区分 地域特性 視点 都市施設 地域公共交通をめぐる課題 - 都市施設が集中する拠点エリアへの<u>アクセス性向上</u>と中心部における回遊性向上を図る必要がある。 区分 地域特性 視点 観光 地域公共交通をめぐる課題 - 多様な移動手段を用いた観光施設への<u>アクセス性向上</u>と「吉備路自転車道」の有効活用を図る必要がある。	- 都市施設が集中する拠点エリアへの<u>アクセス向上</u>と中心部における回遊性向上を図る必要がある。 - 多様な移動手段を用いた観光施設への<u>アクセス向上</u>と「吉備路自転車道」の有効活用を図る必要がある。
P96 表 地域公共交通をめぐる課題【道路・交通特性（2/2）】 区分 道路・交通特性 視点 路線バス 地域公共交通をめぐる課題 清音駅や服部駅への未接続、運行本数の少なさ等の問題があり、特に美袋駅接続路線で利用者数が大きく減少していることから、「雪舟くん」と連携しつつ、市内中心部及び鉄道駅への<u>アクセス性向上</u>に向けた公共交通の導入を検討する必要がある。	清音駅や服部駅への未接続、運行本数の少なさ等の問題があり、特に美袋駅接続路線で利用者数が大きく減少していることから、「雪舟くん」と連携しつつ、市内中心部及び鉄道駅への<u>アクセス向上</u>に向けた公共交通の導入を検討する必要がある。

修 正 後	修 正 前
P99 2. 本計画における目標の設定 目標2 市内外への移動を充実・強化する！ ～本市の基幹・鉄道の強化による移動性向上と交流拡大～ また、生活圏が隣接する岡山市や倉敷市等となる地域において、市域を越えた交通体系構築について協議を行っていくとともに、井原線の利用促進による<u>西方面との交流拡大</u>を図っていきます。	また、生活圏が隣接する岡山市や倉敷市等となる地域において、市域を越えた交通体系構築について協議を行っていくとともに、井原線の利用促進による<u>西方面からの交流拡大</u>を図っていきます。
P100 2. 本計画における目標の設定 目標4 観光客が楽しんで観光地を周遊することができる！ ～レンタサイクルの充実や総社流観光二次交通の導入による観光文化の振興～ 市内には鬼ノ城や備中国分寺、宝福寺など見所ある観光文化施設が点在していますが、ルートや運行本数を考えたときに路線バスでの<u>アクセス性</u>が非常に悪く、また雪舟くんは市民以外が利用できないため、公共交通を利用して観光文化施設にアクセスすることが困難な状況にあります。	市内には鬼ノ城や備中国分寺、宝福寺など見所ある観光文化施設が点在していますが、ルートや運行本数を考えたときに路線バスでの<u>アクセス</u>が非常に悪く、また雪舟くんは市民以外が利用できないため、公共交通を利用して観光文化施設にアクセスすることが困難な状況にあります。
P102 表 取組み方針と事業内容 目標 将来にわたり、安心快適に移動できる！ 対象 路線バス 事業内容 ・市内中心部への<u>アクセス性向上</u>と中心部の自転車、歩行者の安全・安心な空間の整備	・市内中心部への<u>アクセス向上</u>と中心部の自転車、歩行者の安全・安心な空間の整備

修 正 後	修 正 前
P103 表 取組み方針と事業内容 目標 誰もが外出しやすい環境を整備する！ 対象 駅 事業内容 ・拠点エリア各駅や、LRT新駅等を中心に、バリアフリー化や駅前広場、<u>パーク&ライド施設</u>、<u>サイクル&ライド施設</u>や<u>アクセス道路整備</u>の取組みを推進	・拠点エリア各駅や、LRT新駅等を中心に、バリアフリー化や駅前広場、<u>パーク&ライド</u>、<u>サイクル&ライドの施設整備</u>の取組みを推進
P103 表 取組み方針と事業内容 目標 観光客が楽しんで観光地を周遊することができる！ 対象 来訪者用移動手段 上位・関連計画における事業概要 ・総社市への<u>アクセス性向上</u>（岡山空港からの連絡バスや特急列車の停車本数増加を検討） 対象 来訪者用移動手段 上位・関連計画における事業概要 事業内容 ・<u>電動アシスト自転車やタンデム自転車等のレンタサイクル導入検討</u>	・総社市への<u>アクセス向上</u>（岡山空港からの連絡バスや特急列車の停車本数増加を検討） ・ <u>（なし）</u>
P106 事業イメージ 目標1. 将来にわたり、安心快適に移動できる！ 事業対象 雪舟くん ①運行システムの改善 スマホ予約や迎えの到着予定時刻の見える化、また、目的地への到着予定時刻を指定できるなど利便性向上につながる予約システムの<u>導入を図ります</u>。	①運行システムの改善 スマホ予約や迎えの到着予定時刻の見える化、また、目的地への到着予定時刻を指定できるなど利便性向上につながる予約システムの<u>導入を検討します</u>。

修 正 後	修 正 前
P108 事業イメージ 目標1. 将来にわたり、安心快適に移動できる！ 事業対象 運行体系の見直し ① 運行体系の見直し 各鉄道駅への二次交通の充実及び中心部における回遊性向上を図るため、定時型路線の導入等について、路線数や経路、予約型、国県補助など現行の路線の統廃合を含め、制度設計のための<u>検討協議を進め、運行体系の見直しを図ります。</u>	① 運行体系の見直し 各鉄道駅への二次交通の充実及び中心部における回遊性向上を図るため、定時型路線の導入等について、路線数や経路、予約型、国県補助など現行の路線の統廃合を含め、制度設計のための<u>検討協議を進めます。</u>
P111 事業イメージ 目標3. 誰もが外出しやすい環境を整備する！ 事業対象 駅 ② <u>駅前広場等の整備</u> 各駅やJR桃太郎線LRT化による新駅において、<u>駅前広場や自転車や歩行者等も安全に利用できるアクセス道路の整備等により、より乗り継ぎしやすくアクセス性の高い駅を目指します。</u>	② <u>駅前広場の整備</u> 各駅やJR桃太郎線LRT化による新駅において、<u>パーク&ライド、キス&ライドなど利用者の利便性が向上し、憩える駅前広場の整備について検討します。</u>
P112 事業イメージ 目標3. 誰もが外出しやすい環境を整備する！ 事業対象 駅 ③ <u>パーク&ライド駐車場/サイクル&ライド駐輪場の整備</u> 各駅やJR桃太郎線LRT化による新駅において、<u>パーク&ライド駐車場/サイクル&ライド駐輪場の整備等により、より利便性の高い駅を目指します。</u>	③ <u>パーク&ライド駐車場/サイクル&ライド駐輪場の整備</u> 各駅やJR桃太郎線LRT化による新駅において、<u>パーク&ライド駐車場/サイクル&ライド駐輪場の整備を検討し、より利便性の高い駅を目指します。</u>

修 正 後	修 正 前
P114 事業イメージ 目標4. 観光客が楽しんで観光地を周遊することができる！ 事業対象 観光客用移動手段 事業内容 ②レンタサイクルの推進 実施主体（◆：主、◇：関連） 行政 市民地域 <u>企業</u> <u>交通事業者</u> ◆ ◆ ◇	実施主体（◆：主、◇：関連） 行政 市民地域 <u>企業</u> <u>交通事業者</u> ◆ ◇ ◆
P120 表 業績評価指標・現況値・目標値一覧 目標 3. 誰もが外出しやすい環境を整備する！ 事業対象 駅 事業内容 ②駅前広場等の整備 目標 4. 観光客が楽しんで観光地を周遊することができる！ 事業対象 観光客用移動手段 事業内容 ②レンタサイクルの推進 実施主体 行政 市民地域 <u>企業</u> <u>交通事業者</u> ◆ ◆ ◇	②駅前広場の整備 実施主体 行政 市民地域 <u>企業</u> <u>交通事業者</u> ◆ ◇ ◆
P124～125 参考資料 （１） 総社市地域公共交通会議設置要綱 【要綱の添付】	（なし）

修 正 後	修 正 前
P126 参考資料 （２） 総社市地域公共交通会議委員名簿 【名簿の添付】	(なし)
P127 参考資料 （３） 総社市地域公共交通会議の開催状況 【開催状況の添付】	(なし)
巻末 用語集 【用語集の添付】	(なし)